

事後審査型制限付き一般競争入札Q&A

No.	質 問	回 答
1	事後審査型制限付き一般競争入札とはどのようなものですか。	<p>事後審査型制限付き一般競争は、入札前に入札参加資格の審査を行わないため、入札参加申請書を提出すれば入札に参加できます。</p> <p>【流れ】 入札参加申請 → 開札 → ”落札候補者を決定” → → 当該落札候補者のみ入札参加資格審査 → → 落札決定(不適格の場合、次の順位者の審査) 審査の結果、落札候補者が不適格となった場合は、次順位者の入札参加資格の審査を行います。以下、落札者が決定するまで繰り返します。 この制度の目的は、不特定多数の入札参加者が予想される制限付き一般競争入札に係る事務量の軽減を図るためです。</p>
2	事後審査の事後とはいつのことですか？また、何を審査するのですか。	「開札終了後」に、落札候補者が入札公告に示す「入札参加要件」を、満たしているかどうかを審査します。
3	入札設計図書を閲覧したいのですが、どのような手続きを行えばよいのですか。	七尾市ホームページからダウンロードしてください。
4	入札に参加したいのですが、どのような手続きを行えばよいのですか。	入札設計図書の閲覧後、入札参加申請書(2部)を持参してください。
5	入札参加申請書を提出した後、入札日までに何をすればいいのでしょうか。	入札参加申請書を提出した後は、入札に参加していただくだけとなります。
6	落札候補者となった場合に、その権利を辞退できますか。	出来ません。落札候補者の権利を辞退した場合、指名停止措置等を行う事があります。
7	入札参加資格確認結果はどのような方法で発表されますか。	落札候補者にはFAX、ほかの入札参加者には、七尾市ホームページ上において公表・発表いたします。

事後審査型制限付き一般競争入札Q&A

No.	質 問	回 答
8	現場代理人の常駐や、配置技術者の専任が求められる場合において、同一人をもって同日に行われる入札に、何件まで参加申込みができますか。	<p>技術者の配置状況等については、あくまで事後審査ですので、入札参加申込み件数についての制限はありません。</p> <p>ただし、同日に行われる複数の入札において複数落札候補者となった場合、「どの入札の配置技術者にするか」という選択はできません。先に落札候補者となった入札案件が優先されます。</p> <p>また、落札候補者の権利は辞退はできませんので、専任等を求められる工事について落札候補者となった場合は、以後の入札について、開札日時までに、辞退届を提出してください。</p> <p>入札の辞退方法については「入札辞退方法について」をご参照ください。なお、落札候補者の権利を辞退した場合又は入札参加資格審査において複数回不適格となった場合は、指名停止措置等を行うことがあります。</p>
9	入札参加申請書を提出しましたが、都合により当日入札に参加できなくなりました。入札参加申請書の返却をしてほしいのですが。	<p>返却できません。</p> <p>入札参加申請書提出後に入札に参加できなくなった場合は、入札辞退届をご提出ください。</p>
10	入札辞退届を提出しましたが、撤回できますか？	撤回できません。
11	入札参加申請書を提出したかどうかわからなくなったので、書類の提出状況を確認したいのですができますか。	<p>提出状況の確認はたとえ申請者本人であってもお答えしません。</p> <p>入札公告において入札参加申請の際に、申請書を2部持参するよう義務付けております。</p> <p>1部に受領印を押印しお返しますので、入札終了時まで大切に保管してください。</p> <p>また、受領証等の再発行はいたしません。</p>
12	以前に今回の入札公告と同じような工事内容で落札しましたが、今回の事後審査も適格になるのでしょうか。	<p>なりません。</p> <p>入札案件ごとに入札参加要件等を設定しておりますので、入札公告を必ずご確認ください。</p>
13	入札に参加した業者の中に入札参加要件を満たしていないと思われる業者がいましたが、よいのでしょうか。	<p>入札参加資格の審査は事後審査になりますので、制度上全く問題ありません。</p> <p>また、こういった問合わせや情報により、入札参加資格の審査方法が変わったり、不適格とすることは一切ありません。</p>

事後審査型制限付き一般競争入札Q&A

No.	質 問	回 答
14	入札参加申請書を2部持参しておりません。そちら(受付窓口)においてコピーをお願いしたいのですが？	こちらでコピーはいたしません。申請者の負担において、コピーをお願いします。なお、コピー機は本庁舎1階にございますのでご利用ください。